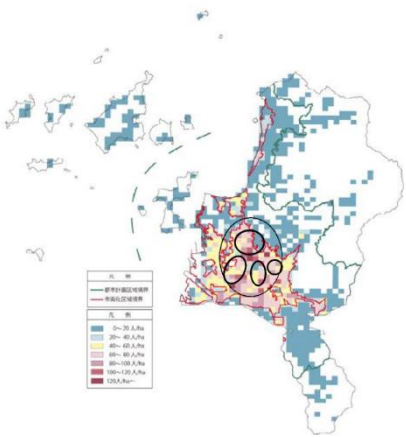
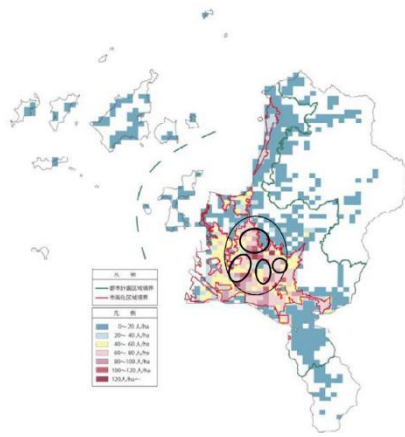

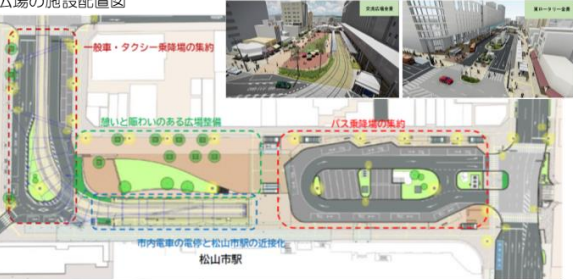

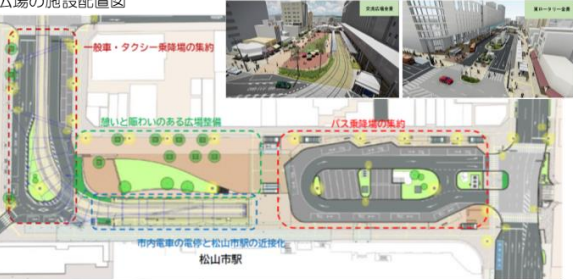

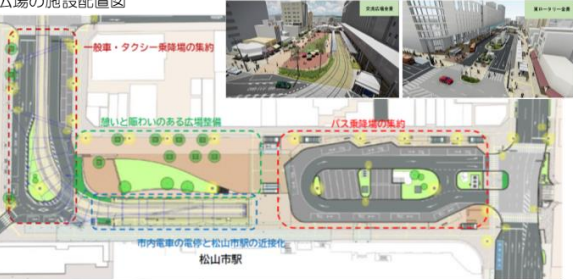




松山市地域公共交通網形成計画（本編） 新旧対照表

頁	現 行	改 定 案
2	<p>1.3 計画の期間</p> <p>本計画の計画期間は、2019（平成 31）年 4 月～<u>2024（平成 36）年 3 月まで</u>の 5 年間とします。</p>	<p>1.3 計画の期間</p> <p>本計画の計画期間は、2019（平成 31）年 4 月～<u>2026（令和 8）年 3 月までの</u> 7 年間とします。</p>
13	<p>3.1.1 人口の推移</p> <p>松山市の総人口は、2010（平成 22）年をピークに減少傾向に転じ、2040（<u>平成 52</u>）年には 1985（昭和 60）年の人口水準（2015（平成 27）年から約 5.7 万人減）に達すると推計されています。</p> <p>0～14 歳人口及び 15～64 歳人口は既に減少傾向にあり、一方で 65 歳以上人口は 2050（<u>平成 62</u>）年頃まで増加が継続すると推計されています。</p>	<p>3.1.1 人口の推移</p> <p>松山市の総人口は、2010（平成 22）年をピークに減少傾向に転じ、2040（<u>令和 22</u>）年には 1985（昭和 60）年の人口水準（2015（平成 27）年から約 5.7 万人減）に達すると推計されています。</p> <p>0～14 歳人口及び 15～64 歳人口は既に減少傾向にあり、一方で 65 歳以上人口は 2050（<u>令和 32</u>）年頃まで増加が継続すると推計されています。</p>
14	<p>3.1.2 人口密度の推移</p> <p>2040（<u>平成 52</u>）年においては、人口減少にともなって 60 人/ha 以上の地域が縮小することが見込まれています。</p> <p>2040（<u>平成 52</u>）年の松山市の人口は、1980（昭和 55）年と同程度にまで減少すると見込まれていますが、人口の分布状況は大きく異なります。</p> <div data-bbox="488 890 779 938" style="text-align: center;"> <p>2040 (H52)</p> </div>  <p style="text-align: center;">図 3.3 松山市の人口密度の推移（国勢調査）</p>	<p>3.1.2 人口密度の推移</p> <p>2040（<u>令和 22</u>）年においては、人口減少にともなって 60 人/ha 以上の地域が縮小することが見込まれています。</p> <p>2040（<u>令和 22</u>）年の松山市の人口は、1980（昭和 55）年と同程度にまで減少すると見込まれていますが、人口の分布状況は大きく異なります。</p> <div data-bbox="1489 890 1780 938" style="text-align: center;"> <p>2040 (R22)</p> </div>  <p style="text-align: center;">図 3.3 松山市の人口密度の推移（国勢調査）</p>

頁	現 行	改 定 案																																				
15	<p>3.2.1 都市構造上の課題</p> <p>(1) 公共交通の利便性・持続可能性</p> <table border="1"> <caption>図 3.4 公共交通の利便性別人口 (市内全域)</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>便利地域</th> <th>準不便地域</th> <th>不便地域</th> <th>空白地域</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2010 (H22)</td> <td>348.1 (67.3%)</td> <td>33.5 (6.5%)</td> <td>124.6 (24.1%)</td> <td>11.1 (2.1%)</td> <td>517.2</td> </tr> <tr> <td>2040 (H52)</td> <td>297.8 (67.9%)</td> <td>25.3 (5.8%)</td> <td>107.1 (24.4%)</td> <td>8.1 (1.8%)</td> <td>438.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>図 3.4 公共交通の利便性別人口 (市内全域)</p>	年次	便利地域	準不便地域	不便地域	空白地域	合計	2010 (H22)	348.1 (67.3%)	33.5 (6.5%)	124.6 (24.1%)	11.1 (2.1%)	517.2	2040 (H52)	297.8 (67.9%)	25.3 (5.8%)	107.1 (24.4%)	8.1 (1.8%)	438.4	<p>3.2.1 都市構造上の課題</p> <p>(1) 公共交通の利便性・持続可能性</p> <table border="1"> <caption>図 3.4 公共交通の利便性別人口 (市内全域)</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>便利地域</th> <th>準不便地域</th> <th>不便地域</th> <th>空白地域</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2010 (H22)</td> <td>348.1 (67.3%)</td> <td>33.5 (6.5%)</td> <td>124.6 (24.1%)</td> <td>11.1 (2.1%)</td> <td>517.2</td> </tr> <tr> <td>2040 (R22)</td> <td>297.8 (67.9%)</td> <td>25.3 (5.8%)</td> <td>107.1 (24.4%)</td> <td>8.1 (1.8%)</td> <td>438.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>図 3.4 公共交通の利便性別人口 (市内全域)</p>	年次	便利地域	準不便地域	不便地域	空白地域	合計	2010 (H22)	348.1 (67.3%)	33.5 (6.5%)	124.6 (24.1%)	11.1 (2.1%)	517.2	2040 (R22)	297.8 (67.9%)	25.3 (5.8%)	107.1 (24.4%)	8.1 (1.8%)	438.4
年次	便利地域	準不便地域	不便地域	空白地域	合計																																	
2010 (H22)	348.1 (67.3%)	33.5 (6.5%)	124.6 (24.1%)	11.1 (2.1%)	517.2																																	
2040 (H52)	297.8 (67.9%)	25.3 (5.8%)	107.1 (24.4%)	8.1 (1.8%)	438.4																																	
年次	便利地域	準不便地域	不便地域	空白地域	合計																																	
2010 (H22)	348.1 (67.3%)	33.5 (6.5%)	124.6 (24.1%)	11.1 (2.1%)	517.2																																	
2040 (R22)	297.8 (67.9%)	25.3 (5.8%)	107.1 (24.4%)	8.1 (1.8%)	438.4																																	
16	<p>図 3.5 公共交通の利用圏と人口密度 (2040 (平成 52) 年)</p>	<p>図 3.5 公共交通の利用圏と人口密度 (2040 (令和 22) 年)</p>																																				
18	<p>凡例</p> <p>人口密度 40 人/ha 以上 (H52)</p> <p>人口密度 40 人/ha 未満 (H52)</p> <p>図 3.7 都市機能施設の立地状況と人口密度 (2040 (平成 52) 年)</p>	<p>凡例</p> <p>人口密度 40 人/ha 以上 (R22)</p> <p>人口密度 40 人/ha 未満 (R22)</p> <p>図 3.7 都市機能施設の立地状況と人口密度 (2040 (令和 22) 年)</p>																																				
19	<p>凡例</p> <p>高齢者増加 (H22→H52)</p> <p>図 3.8 高齢者増加地域 (2010 (平成 22) →2040 (平成 52)) と施設分布</p>	<p>凡例</p> <p>高齢者増加 (H22→R22)</p> <p>図 3.8 高齢者増加地域 (2010 (平成 22) →2040 (令和 22)) と施設分布</p>																																				
94	<p>7.2.1 施策内容</p> <p>短期、中期、長期 (5年間)</p>	<p>7.2.1 施策内容</p> <p>短期、中期、長期 (7年間)</p>																																				

頁	現 行	改 定 案																	
99-1	7.2.2 事業概要 (3) 乗継拠点のシームレス化の推進 <u>(新設)</u>	7.2.2 事業概要 (3) 乗継拠点のシームレス化の推進 <table border="1" data-bbox="1279 268 2011 1433"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1279 268 2011 316">乗継拠点整備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1279 316 1391 355">事業名</td> <td data-bbox="1391 316 2011 355">d-1 乗継拠点整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1279 355 1391 395">実施主体</td> <td data-bbox="1391 355 2011 395">松山市、鉄道事業者、バス事業者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1279 395 1391 435">実施時期</td> <td data-bbox="1391 395 2011 435">令和4年度～令和8年度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1279 435 1391 547">実施目的</td> <td data-bbox="1391 435 2011 547">公共交通の乗り継ぎ利便性の向上や、賑わい空間の創出による中心市街地の活性化を促すため、1日約3万人の乗降客が行き交う松山市駅前を新たに「交流広場」として整備する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1279 547 1391 619">事業の概要</td> <td data-bbox="1391 547 2011 619">駅前広場整備に合わせ、バスや郊外電車、路面電車の相互の乗継ぎがスムーズに行えるよう、バス専用ロータリーや電停の再整備、軌道の移設を行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1279 619 1391 659">事業地域等</td> <td data-bbox="1391 619 2011 659">松山市駅</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1279 659 1391 1433" rowspan="2">事業の詳細</td> <td data-bbox="1391 659 2011 850"> <ul style="list-style-type: none"> <li>路面電車の電停と松山市駅との近接化により、乗継距離の縮減や車道横断を解消する。</li> <li>バス乗降場を東側ロータリーに集約し、各乗降場には上屋を設置する。</li> <li>一般車・タクシー乗降場を西側ロータリーに集約し、各乗降場には上屋を設置する。</li> <li>市駅前を憩いと賑わいのある「交流広場」として整備する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1391 850 2011 1433">  <p data-bbox="1787 946 2000 1074">【サービス水準の向上】          ・路面電車の電停と松山市駅との近接化          乗継距離：100m⇒30m          車道横断数：1⇒0箇所          ・バス専用ロータリー整備によるバス乗降機の集約</p> <p data-bbox="1429 1137 1552 1153">■広場の施設配置図</p> <p data-bbox="1664 1121 1787 1137">■イメージパース</p>  <p data-bbox="1429 1169 1641 1185">一般車・タクシー乗降場の集約</p> <p data-bbox="1429 1249 1641 1265">憩いと賑わいのある広場整備</p> <p data-bbox="1753 1249 1966 1265">バス乗降場の集約</p> <p data-bbox="1429 1377 1709 1393">市内電車の電停と松山市駅の近接化</p> <p data-bbox="1619 1393 1709 1409">松山市駅</p> </td> </tr> </tbody> </table>	乗継拠点整備		事業名	d-1 乗継拠点整備	実施主体	松山市、鉄道事業者、バス事業者	実施時期	令和4年度～令和8年度	実施目的	公共交通の乗り継ぎ利便性の向上や、賑わい空間の創出による中心市街地の活性化を促すため、1日約3万人の乗降客が行き交う松山市駅前を新たに「交流広場」として整備する。	事業の概要	駅前広場整備に合わせ、バスや郊外電車、路面電車の相互の乗継ぎがスムーズに行えるよう、バス専用ロータリーや電停の再整備、軌道の移設を行う。	事業地域等	松山市駅	事業の詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面電車の電停と松山市駅との近接化により、乗継距離の縮減や車道横断を解消する。</li> <li>バス乗降場を東側ロータリーに集約し、各乗降場には上屋を設置する。</li> <li>一般車・タクシー乗降場を西側ロータリーに集約し、各乗降場には上屋を設置する。</li> <li>市駅前を憩いと賑わいのある「交流広場」として整備する。</li> </ul>	 <p data-bbox="1787 946 2000 1074">【サービス水準の向上】          ・路面電車の電停と松山市駅との近接化          乗継距離：100m⇒30m          車道横断数：1⇒0箇所          ・バス専用ロータリー整備によるバス乗降機の集約</p> <p data-bbox="1429 1137 1552 1153">■広場の施設配置図</p> <p data-bbox="1664 1121 1787 1137">■イメージパース</p>  <p data-bbox="1429 1169 1641 1185">一般車・タクシー乗降場の集約</p> <p data-bbox="1429 1249 1641 1265">憩いと賑わいのある広場整備</p> <p data-bbox="1753 1249 1966 1265">バス乗降場の集約</p> <p data-bbox="1429 1377 1709 1393">市内電車の電停と松山市駅の近接化</p> <p data-bbox="1619 1393 1709 1409">松山市駅</p>
乗継拠点整備																			
事業名	d-1 乗継拠点整備																		
実施主体	松山市、鉄道事業者、バス事業者																		
実施時期	令和4年度～令和8年度																		
実施目的	公共交通の乗り継ぎ利便性の向上や、賑わい空間の創出による中心市街地の活性化を促すため、1日約3万人の乗降客が行き交う松山市駅前を新たに「交流広場」として整備する。																		
事業の概要	駅前広場整備に合わせ、バスや郊外電車、路面電車の相互の乗継ぎがスムーズに行えるよう、バス専用ロータリーや電停の再整備、軌道の移設を行う。																		
事業地域等	松山市駅																		
事業の詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面電車の電停と松山市駅との近接化により、乗継距離の縮減や車道横断を解消する。</li> <li>バス乗降場を東側ロータリーに集約し、各乗降場には上屋を設置する。</li> <li>一般車・タクシー乗降場を西側ロータリーに集約し、各乗降場には上屋を設置する。</li> <li>市駅前を憩いと賑わいのある「交流広場」として整備する。</li> </ul>																		
	 <p data-bbox="1787 946 2000 1074">【サービス水準の向上】          ・路面電車の電停と松山市駅との近接化          乗継距離：100m⇒30m          車道横断数：1⇒0箇所          ・バス専用ロータリー整備によるバス乗降機の集約</p> <p data-bbox="1429 1137 1552 1153">■広場の施設配置図</p> <p data-bbox="1664 1121 1787 1137">■イメージパース</p>  <p data-bbox="1429 1169 1641 1185">一般車・タクシー乗降場の集約</p> <p data-bbox="1429 1249 1641 1265">憩いと賑わいのある広場整備</p> <p data-bbox="1753 1249 1966 1265">バス乗降場の集約</p> <p data-bbox="1429 1377 1709 1393">市内電車の電停と松山市駅の近接化</p> <p data-bbox="1619 1393 1709 1409">松山市駅</p>																		

頁	現 行	改 定 案												
99-2	(新設)	<div data-bbox="1234 212 2049 260" style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 2px;">乗継拠点整備</div> <table border="1" data-bbox="1234 260 2049 686"> <tr> <td>事業名</td> <td>d-2 乗継拠点整備</td> </tr> <tr> <td>実施主体</td> <td>松山市、鉄道事業者、バス事業者</td> </tr> <tr> <td>実施時期</td> <td>中期～長期</td> </tr> <tr> <td>実施目的</td> <td>駅前広場で、鉄道や路面電車、バス、タクシーなどの多様な交通モード間の接続強化や賑わい・憩い空間の創出、回遊性向上を図り、公共交通を利用しやすい都市の移動環境を創出することを目的とする。</td> </tr> <tr> <td>事業の概要</td> <td>鉄道高架による駅舎新設に合わせ、駅前広場でバスや鉄道、路面電車の相互の乗継ぎがスムーズに行えるよう、バスターミナルや電停の再整備、軌道の移設を行う。</td> </tr> <tr> <td>事業地域等</td> <td>JR 松山駅周辺</td> </tr> </table> <div data-bbox="1234 686 2049 1460"> <p>事業の詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>路面電車の電停を駅前広場に引込み、駅と電停の近接化による乗継距離の縮減や、地下の車道横断を解消するバリアフリー化を図る。また、電停を集約することで、乗継ぎがわかりやすい電停配置を目指す。</li> </ul>  <p>現状は、路面電車に乗るために、エスカレーターが設置されていない地下横断をする必要がある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分散するバス乗降場を集約し、利用者にとって、わかりやすく、乗継ぎしやすいバスターミナルを整備する。</li> <li>駅前広場に賑わいや憩いの空間を創出し、電停やバスターミナルでの待ち時間の快適性の向上を図る。</li> </ul> <div data-bbox="1370 1232 1682 1391" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【サービス水準の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>路面電車の電停とJR松山駅との近接化 乗継距離：約270m⇒約130m 車道横断数：1⇒0箇所 (地下横断解消によるバリアフリー化)</li> <li>市内電車の電停の集約化</li> <li>バスターミナルの整備によるバス乗降場の集約化</li> <li>広場整備による賑わいの創出</li> </ul> </div>  </div>	事業名	d-2 乗継拠点整備	実施主体	松山市、鉄道事業者、バス事業者	実施時期	中期～長期	実施目的	駅前広場で、鉄道や路面電車、バス、タクシーなどの多様な交通モード間の接続強化や賑わい・憩い空間の創出、回遊性向上を図り、公共交通を利用しやすい都市の移動環境を創出することを目的とする。	事業の概要	鉄道高架による駅舎新設に合わせ、駅前広場でバスや鉄道、路面電車の相互の乗継ぎがスムーズに行えるよう、バスターミナルや電停の再整備、軌道の移設を行う。	事業地域等	JR 松山駅周辺
事業名	d-2 乗継拠点整備													
実施主体	松山市、鉄道事業者、バス事業者													
実施時期	中期～長期													
実施目的	駅前広場で、鉄道や路面電車、バス、タクシーなどの多様な交通モード間の接続強化や賑わい・憩い空間の創出、回遊性向上を図り、公共交通を利用しやすい都市の移動環境を創出することを目的とする。													
事業の概要	鉄道高架による駅舎新設に合わせ、駅前広場でバスや鉄道、路面電車の相互の乗継ぎがスムーズに行えるよう、バスターミナルや電停の再整備、軌道の移設を行う。													
事業地域等	JR 松山駅周辺													

頁	現 行							改 定 案												
	7.2.3 事業スケジュール							7.2.3 事業スケジュール												
103	計画の目標	検討項目	事業名	短期	中期	長期	備考	計画の目標	検討項目	事業名	短期	中期	長期	備考						
				2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)			2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	
	公共交通サービス水準の向上	高齢化に配慮したモビリティ環境の構築	A-1 車両バリアフリー化の推進			実施				見直し	公共交通サービス水準の向上	高齢化に配慮したモビリティ環境の構築	A-1 車両バリアフリー化の推進			実施				見直し
			A-2 自動車から公共交通転換を促進			実施				見直し			A-2 自動車から公共交通転換を促進			実施				見直し
	バスネットワークの効率化	地域状況に応じた公共交通の形成	B-1 幹線・準幹線交通での高サービスの提供			検討・実施				見直し	バスネットワークの効率化	地域状況に応じた公共交通の形成	B-1 幹線・準幹線交通での高サービスの提供			検討・実施				見直し
			B-2 支線交通のサービス向上			検討・実施				見直し			B-2 支線交通のサービス向上			検討・実施				見直し
			C デマンド交通等の運用支援			検討・実施				見直し			C デマンド交通等の運用支援			検討・実施				見直し
	交通結節点の機能強化	乗継拠点のシームレス化を推進	D 乗継環境の改善			実施				見直し	交通結節点の機能強化	乗継拠点のシームレス化を推進	D 乗継環境の改善			実施				見直し
			E-1 広報活動・イベントの実施			実施				見直し			d-1 乗継拠点整備(松山市駅)			実施				見直し
	地域住民の機運醸成	地域公共交通の活性化・利用促進	E-2 公共交通の定期利用促進			実施				見直し	地域住民の機運醸成	地域公共交通の活性化・利用促進	d-2 乗継拠点整備(JR松山駅)			検討・実施				見直し
交通事業者の持続可能な運営		E-3 地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり			実施				見直し	交通事業者の持続可能な運営		E-1 広報活動・イベントの実施			実施				見直し	
												E-2 公共交通の定期利用促進			実施				見直し	
												E-3 地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり			実施				見直し	

頁	現 行	改 定 案								
104	8.1 評価指標	8.1 評価指標								
	<table border="1"> <tr> <td>計画の目標</td> <td>公共交通サービス水準の向上</td> </tr> <tr> <td>検討項目</td> <td>高齢化に配慮したモビリティ環境の構築</td> </tr> </table>	計画の目標	公共交通サービス水準の向上	検討項目	高齢化に配慮したモビリティ環境の構築	<table border="1"> <tr> <td>計画の目標</td> <td>公共交通サービス水準の向上</td> </tr> <tr> <td>検討項目</td> <td>高齢化に配慮したモビリティ環境の構築</td> </tr> </table>	計画の目標	公共交通サービス水準の向上	検討項目	高齢化に配慮したモビリティ環境の構築
	計画の目標	公共交通サービス水準の向上								
	検討項目	高齢化に配慮したモビリティ環境の構築								
	計画の目標	公共交通サービス水準の向上								
	検討項目	高齢化に配慮したモビリティ環境の構築								
	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>車両バリアフリー化の推進</li> <li>自動車から公共交通転換を促進</li> </ul> </td> </tr> </table>	事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両バリアフリー化の推進</li> <li>自動車から公共交通転換を促進</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>車両バリアフリー化の推進</li> <li>自動車から公共交通転換を促進</li> </ul> </td> </tr> </table>	事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両バリアフリー化の推進</li> <li>自動車から公共交通転換を促進</li> </ul>				
	事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両バリアフリー化の推進</li> <li>自動車から公共交通転換を促進</li> </ul>								
事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両バリアフリー化の推進</li> <li>自動車から公共交通転換を促進</li> </ul>									
<table border="1"> <tr> <td>指 標</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノンステップバスなどの導入率</li> <li>高齢者の外出率</li> <li>高齢者の免許返納者数(65歳以上)</li> </ul> </td> </tr> </table>	指 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノンステップバスなどの導入率</li> <li>高齢者の外出率</li> <li>高齢者の免許返納者数(65歳以上)</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>指 標</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノンステップバスなどの導入率</li> <li>高齢者の外出率</li> <li>高齢者の免許返納者数(65歳以上)</li> </ul> </td> </tr> </table>	指 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノンステップバスなどの導入率</li> <li>高齢者の外出率</li> <li>高齢者の免許返納者数(65歳以上)</li> </ul>					
指 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノンステップバスなどの導入率</li> <li>高齢者の外出率</li> <li>高齢者の免許返納者数(65歳以上)</li> </ul>									
指 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノンステップバスなどの導入率</li> <li>高齢者の外出率</li> <li>高齢者の免許返納者数(65歳以上)</li> </ul>									
<table border="1"> <tr> <td>指標の説明</td> <td>           施策の実施から高齢者への外出支援状況を把握する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>車両のバリアフリー化の状況を把握する。</li> <li>移動手段の整備などによる高齢者の外出状況を把握する。</li> <li>高齢者の免許保有者数の推移からを把握する。</li> </ul> </td> </tr> </table>	指標の説明	施策の実施から高齢者への外出支援状況を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>車両のバリアフリー化の状況を把握する。</li> <li>移動手段の整備などによる高齢者の外出状況を把握する。</li> <li>高齢者の免許保有者数の推移からを把握する。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>指標の説明</td> <td>           施策の実施から高齢者への外出支援状況を把握する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>車両のバリアフリー化の状況を把握する。</li> <li>移動手段の整備などによる高齢者の外出状況を把握する。</li> <li>高齢者の免許保有者数の推移からを把握する。</li> </ul> </td> </tr> </table>	指標の説明	施策の実施から高齢者への外出支援状況を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>車両のバリアフリー化の状況を把握する。</li> <li>移動手段の整備などによる高齢者の外出状況を把握する。</li> <li>高齢者の免許保有者数の推移からを把握する。</li> </ul>					
指標の説明	施策の実施から高齢者への外出支援状況を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>車両のバリアフリー化の状況を把握する。</li> <li>移動手段の整備などによる高齢者の外出状況を把握する。</li> <li>高齢者の免許保有者数の推移からを把握する。</li> </ul>									
指標の説明	施策の実施から高齢者への外出支援状況を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>車両のバリアフリー化の状況を把握する。</li> <li>移動手段の整備などによる高齢者の外出状況を把握する。</li> <li>高齢者の免許保有者数の推移からを把握する。</li> </ul>									
<table border="1"> <tr> <td>現 況</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス車両バリアフリー化:80.3%〔2017(平成29)年度〕</li> <li>高齢者外出率:66.6%〔2015(平成27)年度〕</li> <li>高齢者の免許返納者数:1,857人/年〔2017(平成29)年度〕</li> </ul> </td> </tr> </table>	現 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス車両バリアフリー化:80.3%〔2017(平成29)年度〕</li> <li>高齢者外出率:66.6%〔2015(平成27)年度〕</li> <li>高齢者の免許返納者数:1,857人/年〔2017(平成29)年度〕</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>現 況</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス車両バリアフリー化:80.3%〔2017(平成29)年度〕</li> <li>高齢者外出率:66.6%〔2015(平成27)年度〕</li> <li>高齢者の免許返納者数:1,857人/年〔2017(平成29)年度〕</li> </ul> </td> </tr> </table>	現 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス車両バリアフリー化:80.3%〔2017(平成29)年度〕</li> <li>高齢者外出率:66.6%〔2015(平成27)年度〕</li> <li>高齢者の免許返納者数:1,857人/年〔2017(平成29)年度〕</li> </ul>					
現 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス車両バリアフリー化:80.3%〔2017(平成29)年度〕</li> <li>高齢者外出率:66.6%〔2015(平成27)年度〕</li> <li>高齢者の免許返納者数:1,857人/年〔2017(平成29)年度〕</li> </ul>									
現 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス車両バリアフリー化:80.3%〔2017(平成29)年度〕</li> <li>高齢者外出率:66.6%〔2015(平成27)年度〕</li> <li>高齢者の免許返納者数:1,857人/年〔2017(平成29)年度〕</li> </ul>									
<table border="1"> <tr> <td>目 標 値</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス車両バリアフリー化:85.0%〔2022(平成34)年度〕</li> <li>高齢者外出率:現状維持〔2020(平成32)年度〕</li> <li>高齢者の免許返納者数:2,500人/年〔2022(平成34)年度〕</li> </ul> </td> </tr> </table>	目 標 値	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス車両バリアフリー化:85.0%〔2022(平成34)年度〕</li> <li>高齢者外出率:現状維持〔2020(平成32)年度〕</li> <li>高齢者の免許返納者数:2,500人/年〔2022(平成34)年度〕</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>目 標 値</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス車両バリアフリー化:92.0%</li> <li>高齢者外出率:現状維持</li> <li>高齢者の免許返納者数:2,500人/年</li> </ul> </td> </tr> </table>	目 標 値	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス車両バリアフリー化:92.0%</li> <li>高齢者外出率:現状維持</li> <li>高齢者の免許返納者数:2,500人/年</li> </ul>					
目 標 値	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス車両バリアフリー化:85.0%〔2022(平成34)年度〕</li> <li>高齢者外出率:現状維持〔2020(平成32)年度〕</li> <li>高齢者の免許返納者数:2,500人/年〔2022(平成34)年度〕</li> </ul>									
目 標 値	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス車両バリアフリー化:92.0%</li> <li>高齢者外出率:現状維持</li> <li>高齢者の免許返納者数:2,500人/年</li> </ul>									
<table border="1"> <tr> <td>備 考</td> <td>—</td> </tr> </table>	備 考	—	<table border="1"> <tr> <td>備 考</td> <td>—</td> </tr> </table>	備 考	—					
備 考	—									
備 考	—									
<p>・ 車両バリアフリー化は、ノンステップバスの導入率とします。現況は2018(平成30)年3月の伊予鉄バスの状況(株式会社伊予鉄グループHP)で示されている数値を用い、目標値は「第6次松山市総合計画 後期基本計画(2018(平成30)年3月)」における「良好な交通環境の整備」として「ノンステップバスの導入率(2022(平成34)年度)」として示されている数値を用いました。</p>	<p>・ 車両バリアフリー化は、ノンステップバスの導入率とします。現況は2018(平成30)年3月の伊予鉄バスの状況(株式会社伊予鉄グループHP)で示されている数値を用い、目標値は「第6次松山市総合計画 後期基本計画(2018(平成30)年3月、令和5年3月変更)」における「良好な交通環境の整備」として「ノンステップバスの導入率(2024(令和6)年度)」の数値を参考にしました。</p>									

頁	現 行	改 定 案																																
105	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="152 153 427 252">計画の目標</td> <td data-bbox="427 153 1144 252">バスネットワークの効率化</td> </tr> <tr> <td data-bbox="152 252 427 304">検討項目</td> <td data-bbox="427 252 1144 304">地域状況に応じた公共交通の形成</td> </tr> <tr> <td data-bbox="152 304 427 448">事業名</td> <td data-bbox="427 304 1144 448"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幹線交通での高サービスの提供</li> <li>・ 支線交通のサービス向上</li> <li>・ デマンド交通等の運用支援</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="152 448 427 560">指 標</td> <td data-bbox="427 448 1144 560"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数</li> <li>・ 不便地域・空白地域の比率</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="152 560 427 751">指標の説明</td> <td data-bbox="427 560 1144 751"> <p>施策の実施状況を運行路線数の推移、施策による効果を利用者数で継続的に施策の状況を確認する。</p> <p>また、公共交通の導入による不便地域、空白地域の変化を把握する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="152 751 427 895">現 況</td> <td data-bbox="427 751 1144 895"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数:7,854 千人/年 [2016(平成 28)年度]</li> <li>・ 不便地域・空白地域の人口比率:26.2% [2010(平成 22)年度]</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="152 895 427 1038">目 標 値</td> <td data-bbox="427 895 1144 1038"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数:現状維持 <u>[2022(平成 34)年度]</u></li> <li>・ 不便地域・空白地域の人口比率:25.0%以下 <u>[2020(平成 32)年度]</u></li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="152 1038 427 1098">備 考</td> <td data-bbox="427 1038 1144 1098">—</td> </tr> </table>	計画の目標	バスネットワークの効率化	検討項目	地域状況に応じた公共交通の形成	事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幹線交通での高サービスの提供</li> <li>・ 支線交通のサービス向上</li> <li>・ デマンド交通等の運用支援</li> </ul>	指 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数</li> <li>・ 不便地域・空白地域の比率</li> </ul>	指標の説明	<p>施策の実施状況を運行路線数の推移、施策による効果を利用者数で継続的に施策の状況を確認する。</p> <p>また、公共交通の導入による不便地域、空白地域の変化を把握する。</p>	現 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数:7,854 千人/年 [2016(平成 28)年度]</li> <li>・ 不便地域・空白地域の人口比率:26.2% [2010(平成 22)年度]</li> </ul>	目 標 値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数:現状維持 <u>[2022(平成 34)年度]</u></li> <li>・ 不便地域・空白地域の人口比率:25.0%以下 <u>[2020(平成 32)年度]</u></li> </ul>	備 考	—	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1144 153 1420 252">計画の目標</td> <td data-bbox="1420 153 2150 252">バスネットワークの効率化</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1144 252 1420 304">検討項目</td> <td data-bbox="1420 252 2150 304">地域状況に応じた公共交通の形成</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1144 304 1420 448">事業名</td> <td data-bbox="1420 304 2150 448"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幹線交通での高サービスの提供</li> <li>・ 支線交通のサービス向上</li> <li>・ デマンド交通等の運用支援</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1144 448 1420 560">指 標</td> <td data-bbox="1420 448 2150 560"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数</li> <li>・ 不便地域・空白地域の比率</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1144 560 1420 751">指標の説明</td> <td data-bbox="1420 560 2150 751"> <p>施策の実施状況を運行路線数の推移、施策による効果を利用者数で継続的に施策の状況を確認する。</p> <p>また、公共交通の導入による不便地域、空白地域の変化を把握する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1144 751 1420 895">現 況</td> <td data-bbox="1420 751 2150 895"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数:7,854 千人/年 [2016(平成 28)年度]</li> <li>・ 不便地域・空白地域の人口比率:26.2% [2010(平成 22)年度]</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1144 895 1420 1038">目 標 値</td> <td data-bbox="1420 895 2150 1038"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数:現状維持</li> <li>・ 不便地域・空白地域の人口比率:25.0%以下</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1144 1038 1420 1098">備 考</td> <td data-bbox="1420 1038 2150 1098">—</td> </tr> </table>	計画の目標	バスネットワークの効率化	検討項目	地域状況に応じた公共交通の形成	事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幹線交通での高サービスの提供</li> <li>・ 支線交通のサービス向上</li> <li>・ デマンド交通等の運用支援</li> </ul>	指 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数</li> <li>・ 不便地域・空白地域の比率</li> </ul>	指標の説明	<p>施策の実施状況を運行路線数の推移、施策による効果を利用者数で継続的に施策の状況を確認する。</p> <p>また、公共交通の導入による不便地域、空白地域の変化を把握する。</p>	現 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数:7,854 千人/年 [2016(平成 28)年度]</li> <li>・ 不便地域・空白地域の人口比率:26.2% [2010(平成 22)年度]</li> </ul>	目 標 値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数:現状維持</li> <li>・ 不便地域・空白地域の人口比率:25.0%以下</li> </ul>	備 考	—
	計画の目標	バスネットワークの効率化																																
	検討項目	地域状況に応じた公共交通の形成																																
	事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幹線交通での高サービスの提供</li> <li>・ 支線交通のサービス向上</li> <li>・ デマンド交通等の運用支援</li> </ul>																																
	指 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数</li> <li>・ 不便地域・空白地域の比率</li> </ul>																																
	指標の説明	<p>施策の実施状況を運行路線数の推移、施策による効果を利用者数で継続的に施策の状況を確認する。</p> <p>また、公共交通の導入による不便地域、空白地域の変化を把握する。</p>																																
	現 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数:7,854 千人/年 [2016(平成 28)年度]</li> <li>・ 不便地域・空白地域の人口比率:26.2% [2010(平成 22)年度]</li> </ul>																																
	目 標 値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数:現状維持 <u>[2022(平成 34)年度]</u></li> <li>・ 不便地域・空白地域の人口比率:25.0%以下 <u>[2020(平成 32)年度]</u></li> </ul>																																
備 考	—																																	
計画の目標	バスネットワークの効率化																																	
検討項目	地域状況に応じた公共交通の形成																																	
事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幹線交通での高サービスの提供</li> <li>・ 支線交通のサービス向上</li> <li>・ デマンド交通等の運用支援</li> </ul>																																	
指 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数</li> <li>・ 不便地域・空白地域の比率</li> </ul>																																	
指標の説明	<p>施策の実施状況を運行路線数の推移、施策による効果を利用者数で継続的に施策の状況を確認する。</p> <p>また、公共交通の導入による不便地域、空白地域の変化を把握する。</p>																																	
現 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数:7,854 千人/年 [2016(平成 28)年度]</li> <li>・ 不便地域・空白地域の人口比率:26.2% [2010(平成 22)年度]</li> </ul>																																	
目 標 値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス利用者数:現状維持</li> <li>・ 不便地域・空白地域の人口比率:25.0%以下</li> </ul>																																	
備 考	—																																	



頁	現 行	改 定 案																																
106	<table border="1"> <tr> <td>計画の目標</td> <td>交通結節点の機能強化</td> </tr> <tr> <td>検討項目</td> <td>乗継拠点のシームレス化を推進</td> </tr> <tr> <td>事業名</td> <td>・乗継環境の改善</td> </tr> <tr> <td>指 標</td> <td>・乗継拠点(駅・バス停)での利用者数</td> </tr> <tr> <td>指標の説明</td> <td>改善による効果として、乗継拠点での利用者動向(鉄道・軌道・バス乗降数)を把握する。</td> </tr> <tr> <td>現 況</td> <td>・乗継拠点乗降数: 18,455 千人/年〔2016(平成 28)年度〕</td> </tr> <tr> <td>目 標 値</td> <td>・乗継拠点乗降数: 現状維持 <u>〔2022(平成 34)年度〕</u></td> </tr> <tr> <td>備 考</td> <td>—</td> </tr> </table>	計画の目標	交通結節点の機能強化	検討項目	乗継拠点のシームレス化を推進	事業名	・乗継環境の改善	指 標	・乗継拠点(駅・バス停)での利用者数	指標の説明	改善による効果として、乗継拠点での利用者動向(鉄道・軌道・バス乗降数)を把握する。	現 況	・乗継拠点乗降数: 18,455 千人/年〔2016(平成 28)年度〕	目 標 値	・乗継拠点乗降数: 現状維持 <u>〔2022(平成 34)年度〕</u>	備 考	—	<table border="1"> <tr> <td>計画の目標</td> <td>交通結節点の機能強化</td> </tr> <tr> <td>検討項目</td> <td>乗継拠点のシームレス化を推進</td> </tr> <tr> <td>事業名</td> <td>・乗継環境の改善</td> </tr> <tr> <td>指 標</td> <td>・乗継拠点(駅・バス停)での利用者数</td> </tr> <tr> <td>指標の説明</td> <td>改善による効果として、乗継拠点での利用者動向(鉄道・軌道・バス乗降数)を把握する。</td> </tr> <tr> <td>現 況</td> <td>・乗継拠点乗降数: 18,455 千人/年〔2016(平成 28)年度〕</td> </tr> <tr> <td>目 標 値</td> <td>・乗継拠点乗降数: 現状維持</td> </tr> <tr> <td>備 考</td> <td>—</td> </tr> </table>	計画の目標	交通結節点の機能強化	検討項目	乗継拠点のシームレス化を推進	事業名	・乗継環境の改善	指 標	・乗継拠点(駅・バス停)での利用者数	指標の説明	改善による効果として、乗継拠点での利用者動向(鉄道・軌道・バス乗降数)を把握する。	現 況	・乗継拠点乗降数: 18,455 千人/年〔2016(平成 28)年度〕	目 標 値	・乗継拠点乗降数: 現状維持	備 考	—
	計画の目標	交通結節点の機能強化																																
	検討項目	乗継拠点のシームレス化を推進																																
	事業名	・乗継環境の改善																																
	指 標	・乗継拠点(駅・バス停)での利用者数																																
	指標の説明	改善による効果として、乗継拠点での利用者動向(鉄道・軌道・バス乗降数)を把握する。																																
	現 況	・乗継拠点乗降数: 18,455 千人/年〔2016(平成 28)年度〕																																
	目 標 値	・乗継拠点乗降数: 現状維持 <u>〔2022(平成 34)年度〕</u>																																
	備 考	—																																
	計画の目標	交通結節点の機能強化																																
	検討項目	乗継拠点のシームレス化を推進																																
	事業名	・乗継環境の改善																																
	指 標	・乗継拠点(駅・バス停)での利用者数																																
	指標の説明	改善による効果として、乗継拠点での利用者動向(鉄道・軌道・バス乗降数)を把握する。																																
現 況	・乗継拠点乗降数: 18,455 千人/年〔2016(平成 28)年度〕																																	
目 標 値	・乗継拠点乗降数: 現状維持																																	
備 考	—																																	
<table border="1"> <tr> <td>計画の目標</td> <td>地域住民の機運醸成 交通事業者の持続可能な運営</td> </tr> <tr> <td>検討項目</td> <td>地域公共交通の活性化・利用促進</td> </tr> <tr> <td>事業名</td> <td>・広報活動・イベントの実施 ・公共交通の定期利用促進 ・地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり</td> </tr> <tr> <td>指 標</td> <td>・バス定期券利用者数</td> </tr> <tr> <td>指標の説明</td> <td>公共交通利用促進として実施したイベント、バスマップなど配布により、公共交通(バス)の利用が推進されているか、利用者数の推移から把握する。</td> </tr> <tr> <td>現 況</td> <td>・バス定期券利用者数: 2,830 千人/年〔2016(平成 28)年度〕</td> </tr> <tr> <td>目 標 値</td> <td>・バス定期券利用者数: 現状維持 <u>〔2022(平成 34)年度〕</u></td> </tr> <tr> <td>備 考</td> <td>—</td> </tr> </table>	計画の目標	地域住民の機運醸成 交通事業者の持続可能な運営	検討項目	地域公共交通の活性化・利用促進	事業名	・広報活動・イベントの実施 ・公共交通の定期利用促進 ・地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり	指 標	・バス定期券利用者数	指標の説明	公共交通利用促進として実施したイベント、バスマップなど配布により、公共交通(バス)の利用が推進されているか、利用者数の推移から把握する。	現 況	・バス定期券利用者数: 2,830 千人/年〔2016(平成 28)年度〕	目 標 値	・バス定期券利用者数: 現状維持 <u>〔2022(平成 34)年度〕</u>	備 考	—	<table border="1"> <tr> <td>計画の目標</td> <td>地域住民の機運醸成 交通事業者の持続可能な運営</td> </tr> <tr> <td>検討項目</td> <td>地域公共交通の活性化・利用促進</td> </tr> <tr> <td>事業名</td> <td>・広報活動・イベントの実施 ・公共交通の定期利用促進 ・地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり</td> </tr> <tr> <td>指 標</td> <td>・バス定期券利用者数</td> </tr> <tr> <td>指標の説明</td> <td>公共交通利用促進として実施したイベント、バスマップなど配布により、公共交通(バス)の利用が推進されているか、利用者数の推移から把握する。</td> </tr> <tr> <td>現 況</td> <td>・バス定期券利用者数: 2,830 千人/年〔2016(平成 28)年度〕</td> </tr> <tr> <td>目 標 値</td> <td>・バス定期券利用者数: 現状維持</td> </tr> <tr> <td>備 考</td> <td>—</td> </tr> </table>	計画の目標	地域住民の機運醸成 交通事業者の持続可能な運営	検討項目	地域公共交通の活性化・利用促進	事業名	・広報活動・イベントの実施 ・公共交通の定期利用促進 ・地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり	指 標	・バス定期券利用者数	指標の説明	公共交通利用促進として実施したイベント、バスマップなど配布により、公共交通(バス)の利用が推進されているか、利用者数の推移から把握する。	現 況	・バス定期券利用者数: 2,830 千人/年〔2016(平成 28)年度〕	目 標 値	・バス定期券利用者数: 現状維持	備 考	—	
計画の目標	地域住民の機運醸成 交通事業者の持続可能な運営																																	
検討項目	地域公共交通の活性化・利用促進																																	
事業名	・広報活動・イベントの実施 ・公共交通の定期利用促進 ・地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり																																	
指 標	・バス定期券利用者数																																	
指標の説明	公共交通利用促進として実施したイベント、バスマップなど配布により、公共交通(バス)の利用が推進されているか、利用者数の推移から把握する。																																	
現 況	・バス定期券利用者数: 2,830 千人/年〔2016(平成 28)年度〕																																	
目 標 値	・バス定期券利用者数: 現状維持 <u>〔2022(平成 34)年度〕</u>																																	
備 考	—																																	
計画の目標	地域住民の機運醸成 交通事業者の持続可能な運営																																	
検討項目	地域公共交通の活性化・利用促進																																	
事業名	・広報活動・イベントの実施 ・公共交通の定期利用促進 ・地域住民が主体となる公共交通の仕組づくり																																	
指 標	・バス定期券利用者数																																	
指標の説明	公共交通利用促進として実施したイベント、バスマップなど配布により、公共交通(バス)の利用が推進されているか、利用者数の推移から把握する。																																	
現 況	・バス定期券利用者数: 2,830 千人/年〔2016(平成 28)年度〕																																	
目 標 値	・バス定期券利用者数: 現状維持																																	
備 考	—																																	



頁	現 行	改 定 案																													
108	8.3 達成状況の評価	8.3 達成状況の評価																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">計画名</th> <th colspan="3">計画期間(年度)</th> </tr> <tr> <th>2019(H31)～ 2020(H32) (短期)</th> <th>2021(H33)～ 2022(H34) (中期)</th> <th>2023(H35)～ (長期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松山市 地域公共交通網形成計 画 (H31.3月策定)</td> <td>2019(H31) 4月～</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;"> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">図 8.3 計画の見直しの考え方</p>	計画名	計画期間(年度)			2019(H31)～ 2020(H32) (短期)	2021(H33)～ 2022(H34) (中期)	2023(H35)～ (長期)	松山市 地域公共交通網形成計 画 (H31.3月策定)	2019(H31) 4月～							<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">計画名</th> <th colspan="3">計画期間(年度)</th> </tr> <tr> <th>2019(H31)～ 2020(R2) (短期)</th> <th>2021(R3)～ 2022(R4) (中期)</th> <th>2023(R5)～ 2025(R7) (長期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松山市 地域公共交通網形成計 画 (H31.3月策定)</td> <td>2019(H31) 4月～</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;"> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">図 8.3 計画の見直しの考え方</p>	計画名	計画期間(年度)			2019(H31)～ 2020(R2) (短期)	2021(R3)～ 2022(R4) (中期)	2023(R5)～ 2025(R7) (長期)	松山市 地域公共交通網形成計 画 (H31.3月策定)	2019(H31) 4月～					
計画名	計画期間(年度)																														
	2019(H31)～ 2020(H32) (短期)	2021(H33)～ 2022(H34) (中期)	2023(H35)～ (長期)																												
松山市 地域公共交通網形成計 画 (H31.3月策定)	2019(H31) 4月～																														
計画名	計画期間(年度)																														
	2019(H31)～ 2020(R2) (短期)	2021(R3)～ 2022(R4) (中期)	2023(R5)～ 2025(R7) (長期)																												
松山市 地域公共交通網形成計 画 (H31.3月策定)	2019(H31) 4月～																														